

## 第 28 回技能グランプリ「家具」職種競技課題

次の仕様書及び支給材料に従って、課題図に示す作品を製作しなさい。

## 1. 競 技 時 間

標準時間	11 時間 30 分	打切り時間	12 時間
------	------------	-------	-------

## 2. 仕 様

- (1) 天板と帆立て板の接合は、前後留 7 枚蟻組接ぎとする。
- (2) 地板と帆立て板の接合は、3 方胴付大入れ接ぎとする。
- (3) 中棚と帆立て板の接合は、3 方胴付大入れ接ぎとする。
- (4) 帆立て板と幕板の接合は、片胴付ほぞとする。
- (5) 帆立て板の脚先は、図面寸法の通りとする。
- (6) 引き出しの前板と側板の接合は、包み蟻 5 枚組接ぎとする。
- (7) 引き出しの側板と先板の接合は、3 枚組接ぎとする。
- (8) 引き出しの側板と先板の 3 枚組接ぎは、釘で緊結して木口ダボで埋めることとする。
- (9) 引き違い扉の接合については、「競技前日」に指示する。
- (10) 地板と幕板の接合は、接着剤を使わないこととする。
- (11) 作品は、仕様と課題図に提示した仕口及び寸法通りに工作する。「彫り込み手掛け」緊結、その他図面に記載していないものについては、選手の判断で工作する。
- (12) 箱部、引き違い戸、引き出しについては、加工の完了後（本組直前）検査を受けた後組み立てる。
- (13) 面は、指示されているところ以外は糸面とする。
- (14) 前後留 7 枚蟻組接ぎの加工は、専用ジグを使用してもよい。
- (15) 競技会場には、次の機械が設置してある（機械を使用してもよい加工は、下記に限る）。
  - A 横切丸のご盤
    - ① 箱部（天板・帆立て板・中棚・地板）とアクリル、裏板の「切り回し」。
    - ② 上記部材以外の「長さ決め・幅決め」には、横切丸のご盤又は、昇降丸のご盤、軸傾斜丸のご盤を使用してもよい。
  - B 昇降丸のご盤
    - ① 幕板の「ほぞの縦びき」（ほぞ取り装置）・「横びき」
    - ② 引き違い扉のアクリル板の「段欠き」各部材の「裏板の決り」
    - ③ 引き違い扉の加工
  - C 軸傾斜丸のご盤
    - ① ほぞ加工及び天板、帆立て板、地板の「段欠き、決り」
    - ② 幕板の「横びき等」
    - ③ 引き違い扉の加工
    - ④ 各部材の胴付加工

D 電動トリマ

前後留 7 枚蟻組接ぎ加工（専用ジグを使用しての加工）

帆立て板の小穴溝加工

引き違い扉の面取り用（切面加工）

E 電動ルータ

前後留 7 枚蟻組接ぎ加工（専用ジグを使用しての加工）

天板、帆立て、地板、中棚の段欠き、小穴溝加工

引き違い扉の面取り用加工

帆立て板・地板の 3 方胴付大入れ接ぎ加工

F 角のみ盤

幕板の「ほぞ穴加工」

- (16) 持参工具一覧表に示していない型板やジグ類は、使用できない。但し、支給材料から競技時間内に製作して使用するものは構わない。
- (17) 仕様や課題図に示していない事項については、競技会場で指示する。
- (18) 木工機械（横切丸のこ盤、昇降丸のこ盤、軸傾斜丸のこ盤）の取り扱いについては、競技委員の指示に従って、歯の接触予防装置（安全カバー）を取り付け、使用すること。繊維方向に幅を決めるときは、反ぱつ予防装置（割刃）を取り付け、使用すること。また、携帯工具についても安全面に留意して使用すること。